

9月議会

市民の願い実現へ 山岡・岡田・小西各議員が一般質問

9月定例議会は一般質問が11日から17日まで4日間行われ、20人の議員が質問に立ちました。山岡議員は学校図書活動の推進、市職員の職場環境づくり、簡易委託駅、高齢者の交通事故防止、通学の安全対策、岡田議員は、ジェンダー平等、

青土ダムエコーバレイ、町並み保存、コミバス・コミタク、小西議員は、無料低額診療、大戸川ダム中止、甲賀病院の休床病棟、学校改修計画について、それぞれ問題点を指摘するとともに、市民の願い実現をせまりました。

山岡光広議員

山岡光広議員は、学校図書司書が今年度7名から5名に減少していることに対し、パブコメでも問題点が指摘されていることから、図書活動の推進を図るためにも、早急に改善し新年度は7名に体制に戻すことを求めました。市からは具体的な改善策は示されず、教育委員会の学校司書に対する位置づけをあらためるべきと指摘しました。

また、甲賀市が誕生して以降、市職員の現職死で9人のうち6人が癌が原因とのことから、健康診断で要検査となった人のフォローや癌のリスク健診を標準健診項目として実施すべきと求めました。

高齢者による交通事故防止については、「アクセル制御システム」が注目されていることから、「後付けペダル踏み間違い防止装置」設置促進のため補助制度の設置を提案。

子どもたちの通学路における事故防止対策として、国や県に交通安全対策費の増額を求めること、また、甲南野尻交差点の「待機場所」、甲南ブララ前の横断歩道の設置についても要望しました。

岡田重美議員

岡田重美議員は、ジェンダー平等について質問。女性だけでなく男性も、LGBTなど多様な性も含むすべての人が自分らしく生きられる社会が求められることから、ジェンダー平等に対する市長の認識、また具体的には、各種書類の性別記載の見直し、同性パートナーシップ制度導入、学校での性に関する学びなどについて市の考えを問いました。

青土ダムエコーバレイの施設整備について、ブルーリバー駐車場のトイレの洋式化、ブルーシャトー2階への階段の手すり設置を求めました。必要性はあるとの答弁。また、市の管理物件であるバンガローの修繕費は協定書に基づき指定管理者でなく市が負担すべきと質しました。

旧東海道の町並み保全の考え方も問いました。保全に向け支援していく、土山のカラー舗装は部分修繕を行う、無電柱化の要望に関しては、景観の観点では検討に至らないが、防災の観点から必要な道路は検討とのこと。甲賀・甲南地域からの甲賀病院直行バスの改善、バス停のベンチの設置などを求めました。

小西喜代次議員

小西喜代次議員は、低所得者などに医療機関が無料または低額で診療を行う無料低額診療について、みなくち診療所など市の医療機関で実施に向け検討を始めるべきと提案。実施は考えていないとの市の回答に対し、この事業は生活困窮で受診を控える人を受診につなげることがカギであると強調し、実施についての検討を求めました。

6月議会でも取り上げた大戸川ダム中止については、8月の国交省との政府交渉の内容もふまえて、市長にあらためてダム建設の必要性を問いました。また、県・国への市要望としてダム建設があげられているが、ダムと河川整備は切り離して要望すべきと質しました。

公立甲賀病院で現在48床が休床となっている。市民のいのちと健康を守るため早期の再開が必要とされることから市の対応を問いました。市長は、副管理者の立場からも再開に向け注力するとの答弁でした。学校改修については、雲井小学校のプール改善、屋外トイレ新設、駐車場進入路の改善を求めました。



16日、水口後援会でバーベキューを楽しみました。岡田議員も参加しました。

日本共産党水口後援会BBQ

コミバス無料乗車券、10月から75歳以上に拡充！



これまで80歳以上を対象としていたコミユニティバスの無料乗車券が来月から、75歳以上に拡充されます。75歳からの拡充は、これまで日本共産党の甲賀市議員団が議会で繰り返し求めてきたものです。「気軽に外出できる」と喜びの声が聞かれています。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2019年 9月 22日 第278号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696